

## できることを力いっぱい頑張った一年間!

-温かく見守っていただき、本当にありがとうございました-

校長 加藤 隆史

3月15日(火)の5時間目に全校で「6年生を送る会」が行われました。

県内はまん延防止等重点措置期間で、本校でも感染防止対策のため学級や学年が入り交じる活動の取り止め等、様々な制限がありました。そこで、5年生が中心となって様々な工夫を凝らし、感染防止対策を徹底したうえでの実施となりました。具体的には

- ・5年生の実行委員がオンラインで話し合いを行って、送る会の企画を行いました。
- ・6年生への手紙はそれぞれの教室で書き、5年生が表紙を作成しました。
- ・放送とテレビを使って各教室で全体会や全校でのゲームを行いました。
- ・お礼の手紙を5年生が6年生に渡し、タブレットで撮影して全校へライブ配信しました。
- ・委員会や通学班リーダーの引き継ぎ식을事前に撮影をして、各教室へ放映しました。

「いろんなことが中止になったけれど、送る会は何としてもやりたい!」

これまでリーダーとして頑張ってきた6年生に感謝の気持ちを贈りたいという1年生から5年生の児童と職員の思いを一つの形にすることができました。各教室で音楽に乗ってゲームを楽しむ姿、普段より何倍も丁寧な字で書いてある6年生への手紙、6年生の教室に届くよう校舎中に鳴り響いた拍手。そんな思いは必ずや6年生に届いたことと思います。



本日(25日)、令和3年度は修了式を迎えました。依然として全校では集まれません。しかし、担任から各教室で、一人一人に「わが子の姿」とともに修了証を渡すことができたことをまずは安堵しています。

今年度も新型コロナウイルス感染症は子どもたちの学校生活に大きな影を落としました。しかし、第4波、第5波、そして第6波と、次々と感染症の波が押し寄せ寄せてくる中、子どもたちは笑顔を絶やすことはありませんでした。前記した6年生を送る会に象徴されるように、できることを力いっぱい楽しんで、頑張ってきた子どもたちでした。こうした状況の中でも、子どもたちは、確かに成長してきたと実感しています。

最後になりますが、保護者や地域の皆様には、こうしたお子さまの成長を見ていただく機会を多く設けることができなかったことを本当に申し訳なく思っております。そして、感染状況の変化とともに、対応が日々変わっていく中で混乱を招くこともあったかと思っております。その中、現状のご理解とご協力、お子さまの健康管理を毎日していただき、心より感謝しております。誠にありがとうございました。